

高知県感染症発生動向調査（週報）

2022年 第16週 （4月18日～4月24日）

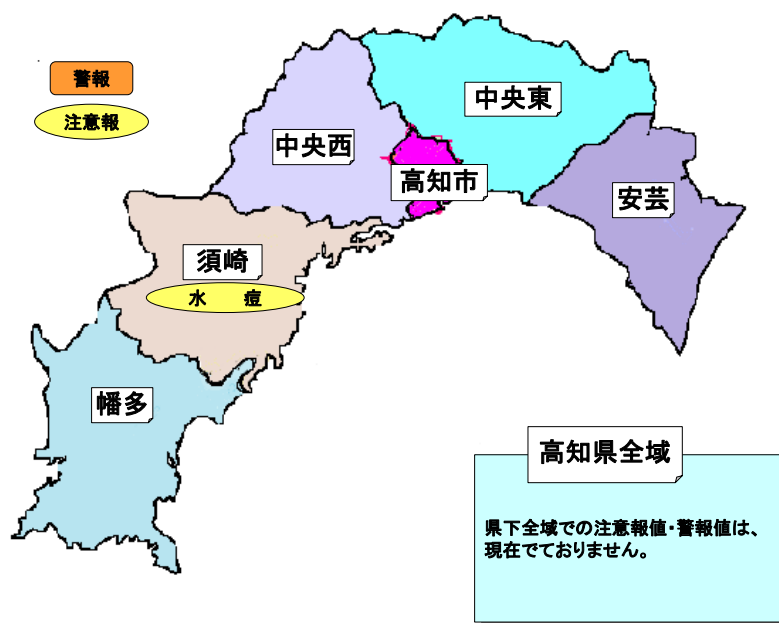
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↘	2.43	幡多で急減、県全域、中央西、須崎で減少していますが、安芸、中央東で増加しています。
咽頭結膜熱	→	0.25	幡多、須崎で急減していますが、中央東で急増、高知市で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	0.21	須崎、幡多で急減していますが、県全域、高知市、中央西、中央東で急増しています。
突発性発疹	↓	0.18	県全域、高知市、中央東、中央西、幡多で急減、須崎で減少しています。
水痘	↘	0.11	安芸、幡多で急減、県全域で減少していますが、高知市で急増し、須崎では注意報値を超えています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

感染症予防の基本は手洗いです

- ・爪は短く切っていますか？
- ・指輪・時計ははずしていますか？
- 1) 石けんを泡立て、てのひらをよくこすります
- 2) 手の甲、指の間や指先、ツメの間まで丹念にこすります
- 3) 親指をねじり洗いし、手首も忘れずにあらいます
- 4) 石けんを洗い流し、清潔なタオルで拭き取って乾かします
- ・汚れの残りやすいところも丁寧に：指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首、手のしわ
- ・タオルの共有は避けましょう



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

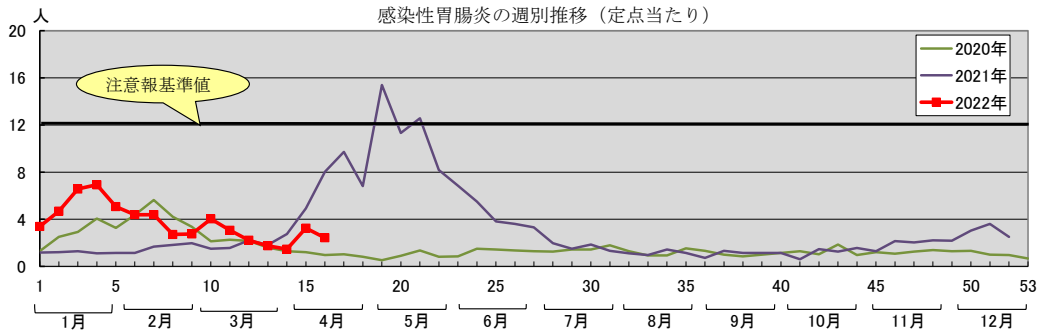
○感染性胃腸炎に気を付けて！

この病気は、ウイルス又は細菌などの病原体により嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

潜伏期は、ノロウイルスは12～48時間程度、その他のウイルスは24～72時間程度、細菌は数時間～5日程度です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1年を通じて発生していますが、特に冬場に流行します。発症してから通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、（長い時には1ヶ月程）度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあるため注意が必要です。

細菌による感染性胃腸炎はほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。



<予防方法>

- ・ノロウイルスはアルコールでは消毒効果がないといわれています。手洗いでしっかり洗い流すことが有効です。特に帰宅時や調理・食事の前、トイレの後には石けんでよく洗い、流水で十分に流しましょう。
- ・ウイルスによる感染性胃腸炎では便や嘔吐物を処理する時は気を付けましょう。

感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

- ・細菌による感染性胃腸炎の予防対策を心がけましょう。

食中毒の一般的な予防方法（【食中毒予防の三原則】食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））を心がけてください。

【学校感染症】

感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）は、学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、条件によっては第3種の感染症の「その他の感染症」となります。出席停止期間の基準は「下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能」ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときはこの限りでない」と規定されています。

- 厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

- 高知県ノロウイルス対策マニュアル

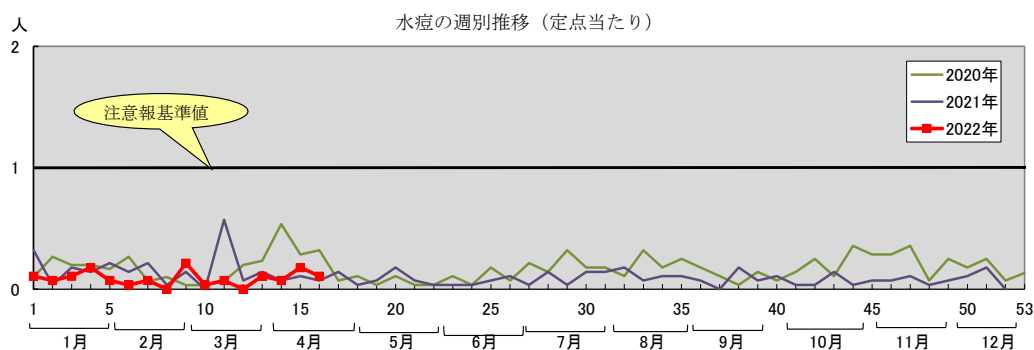
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○水痘に気を付けて！

水痘は、水痘帯状疱疹ウイルスによる感染症で、一般には「みずぼうそう」と呼ばれています。

感染力は強く、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる空気感染や飛まつ感染、水疱や粘膜の排出物に接触することによる接触感染により感染します。

潜伏期間は2～3週間程度で、軽症で終生免疫（一度の感染で生涯、その感染症にはかからない）を得ることが大半ですが、成人では髄膜炎や脳炎などの合併症の頻度が高くなるなど、重症化することもあります。またウイルスが治癒後、体内に潜伏しており、何年も経て「帯状疱疹」として再発することもあります。



<予防方法>

有効な予防対策は予防接種です。2014年10月1日から水痘ワクチンが定期接種となっています。

また、水痘患者に接触した場合でも、72時間以内にワクチンを接種すれば発病を予防したり、症状を軽減することが期待できるとされています。

【学校感染症】

水痘（みずぼうそう）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「すべての発疹が痂皮化するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は、屋外に生息するダニの一種で比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれた可能性があること）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	22	80歳代 男性	高知市
		1		30歳代 女性	
5類	梅毒	1	14	50歳代 男性	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例（10 か月：母親がノロウイルス感染） COVID-19 1 例（9 歳女：PCR 陽性）
	JA 高知病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 マイコプラズマ気管支炎 1 例 COVID-19 17 例
高知市	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 2 例 胃腸炎の流行は続いている
中央西	石黒小児科	単純ヘルペス 2 例（10 歳男、11 歳男）
	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 2 例（1 歳女：南国市、5 歳男：土佐市）
須崎	もりはた小児科	水痘 2 例 （6 歳女 2 人：各々ワクチン 1 回、2 回済だが発疹は典型的） COVID-19 4 例
幡多	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例（2 歳男）

★県外で注目すべき感染症

○無料の風しん抗体検査を実施しています

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんは、今は成人に多い病気で、特に 10 代後半から 50 代前半の男性、20 代から 30 代の女性が多く発病しています。

特に昭和 54 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日生まれの男女は予防接種の接種率が低く、昭和 54 年 4 月 1 日以前生まれの男性は子どもの頃に予防接種を受けるチャンスがありませんでした。風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。

風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

対象者：高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

検査結果：検査後 1～2 週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします。

●厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第 5 期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

●無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>

●風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け）<https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

●風しん Q&A2018 年 1 月 30 日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

○高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

高知県保健所別新型コロナウイルス感染症報告者数

		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	県外	総計	
3月	28	月	2	5	45	9	4	15	80	
	29	火	6	16	97	15	10	29	173	
	30	水	3	20	106	6	4	35	174	
	31	木	4	10	80	23	6	31	154	
4月	1	金	5	17	85	9	10	10	136	
	2	土	6	18	71	10	5	28	138	
	3	日	2	12	59	3	2	14	92	
	4	月	2	13	48	4	1	10	78	
	5	火	10	17	107	4	5	21	164	
	6	水	12	11	103	5	0	13	144	
	7	木	11	36	118	9	5	12	191	
	8	金	22	17	99	10	4	15	167	
	9	土	13	19	94	12	4	12	154	
	10	日	3	18	86	2	0	18	127	
	11	月	13	10	40	10	1	11	85	
	12	火	13	21	100	20	5	25	184	
	13	水	5	23	123	9	6	18	184	
	14	木	12	20	96	28	0	24	180	
	15	金	2	16	90	23	3	10	144	
	16	土	2	19	86	20	7	13	147	
	17	日	1	12	98	9	4	5	129	
	18	月	1	12	52	7	0	5	77	
	19	火	2	21	90	27	5	15	160	
	20	水	8	17	112	14	0	14	165	
	21	木	3	14	113	14	13	11	168	
	22	金	4	25	118	16	3	9	175	
	23	土	1	24	94	23	5	11	158	
	24	日	3	12	68	18	2	7	1	111
総計			449	2,897	13,413	1,557	837	1,374	4	20,531

数字は各地域でその日陽性が確認された数

総計はR2年2月28日以降の報告者数

※第17週（4月25日から5月1日）の週報は大型連休により医療機関が休診となるため、第17週・第18週（5月2日から5月8日）の合併号として5月11日（水）に発行します。

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2022年4月25日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(57定点医療機関)

定点名	疾病名	保健所	第16週 令和4年4月18日(月)～令和4年4月24日(日)							高知県衛生環境研究所		
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(15週)	高知県(16週末累計) R4/1/3～R4/4/24
インフルエンザ	インフルエンザ							()	()	6 ()	9 (0.20)	472 (0.10)
小児科	咽頭結核熱		2	4			1	7 (0.25)	8 (0.29)	222 (0.07)	73 (2.61)	5,963 (1.90)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	3	1			6 (0.21)	2 (0.07)	778 (0.25)	110 (3.93)	15,305 (4.87)
	感染性胃腸炎	5	14	20	13	2	14	68 (2.43)	91 (3.25)	11,110 (3.54)	1,655 (59.11)	214,174 (68.16)
	水痘			1			2	3 (0.11)	5 (0.18)	222 (0.07)	40 (1.43)	3,457 (1.10)
	手足口病		1	1				2 (0.07)	()	277 (0.09)	11 (0.39)	7,031 (2.24)
	伝染性紅斑							()	()	46 (0.01)	7 (0.25)	614 (0.20)
	突発性発疹			4			1	5 (0.18)	15 (0.54)	1,028 (0.33)	118 (4.21)	12,444 (3.96)
	ヘルパンギーナ							()	()	41 (0.01)	1 (0.04)	1,399 (0.45)
	流行性耳下腺炎							()	()	100 (0.03)	10 (0.36)	1,134 (0.36)
	RSウイルス感染症							()	()	404 (0.13)	5 (0.18)	11,506 (3.66)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	4 (0.01)	()	45 (0.07)
	流行性角結膜炎							()	()	94 (0.14)	5 (1.67)	1,512 (2.18)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	2 ()	4 (0.50)	82 (0.17)
	無菌性髄膜炎							()	()	5 (0.01)	()	90 (0.19)
	マイコプラズマ肺炎							()	()	10 (0.02)	1 (0.13)	82 (0.17)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	2 ()	()	12 (0.03)
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)							()	()	2 ()	5 (0.63)	46 (0.10)
計	5	19	33	14	5	15	91			14,353	2,054	275,368
小児科定点当たり人数	(2.50)	(2.72)	(3.65)	(4.66)	(2.50)	(3.00)	(3.25)				(72.71)	
前週	5	12	36	22	9	37		121				
小児科定点当たり人数	(2.50)	(1.72)	(4.00)	(7.34)	(4.50)	(7.40)		(4.33)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(57定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第16週							高知県衛生環境研究所			
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(15週)	高知県(16週末累計) R4/1/3～R4/4/24	全国(15週末累計) R4/1/3～R4/4/17
インフルエンザ	インフルエンザ										0.20	0.10	
小児科	咽頭結核熱		0.29	0.44				0.20	0.25	0.29	0.07	2.61	1.90
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29	0.33	0.33				0.21	0.07	0.25	3.93	4.87
	感染性胃腸炎	2.50	2.00	2.22	4.33	1.00	2.80	2.43	3.25	3.54	59.11	68.16	
	水痘			0.11				0.11	0.18	0.07	1.43	1.10	
	手足口病		0.14	0.11				0.07		0.09	0.39	2.24	
	伝染性紅斑									0.01	0.25	0.20	
	突発性発疹			0.44				0.18	0.54	0.33	4.21	3.96	
	ヘルパンギーナ									0.01	0.04	0.45	
	流行性耳下腺炎									0.03	0.36	0.36	
	RSウイルス感染症									0.13	0.18	3.66	
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.07	
	流行性角結膜炎									0.14	1.67	2.18	
基幹	細菌性髄膜炎										0.50	0.17	
	無菌性髄膜炎									0.01		0.19	
	マイコプラズマ肺炎									0.02	0.13	0.17	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											0.03	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)										0.63	0.10	
計	(小児科定点当たり人数)	2.50	2.72	3.65	4.66	2.50	3.00	3.25			72.71		
前週	(小児科定点当たり人数)	2.50	1.72	4.00	7.34	4.50	7.40		4.33				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2022年 第16週)

